



## 企画展「彩りの器たち」

万華鏡のような模様や鮮やかな色彩の器、愛らしい動植物を描いた器など個性豊かな器を集めて展示します。生活の中に一つあるだけで普段の雰囲気少し違って見えるような美しい作品をご覧ください。

**展示期間** 4月8日(土)～5月21日(日)

**時 間** 午前9時～午後5時

**場 所** 歴史未来館

**入館料** 無料

**休館日** 月曜日

(祝日の場合はその翌日)



## おのこくし 大野 鶴士の、あっと驚く 『おもしろ講座、第1回』

芭蕉の教えを受けた各務 支考が美濃に広めた獅子門。その第41代目の道統宗匠である大野 鶴士氏に歴史を独自の視点で、おもしろく語っていただきます。

**日 時** 5月26日(金)

午後1時30分

**場 所** 歴史未来館 1階 多目的ホール

**演 題** 「大河ドラマに登場した家康」

**講 師** 大野 鶴士氏

**定 員** 24人 ※先着順

**申込方法** 歴史未来館まで事前に電話  
※4月12日(水)午前9時受付開始

**申込問** 歴史未来館 ☎388-0161

## Column コラム

### 見る!知る!学ぶ! れきみ通信

#### れきみで知る焼き物の面白さ 漫画織部?妖怪ぐいのみ?

歴史未来館の春の企画展は「彩りの器たち」です。4年前に「美濃・瀬戸の焼物たち」と題し、志野や織部など岐阜周辺を代表する陶器を中心に展示したところ「人気作家の作品が一度にたくさん見られて良かった」「展示品の種類と数に驚いた」。観光で立ち寄ったアメリカ人夫婦からは「ワンドフル!」と大絶賛をいただき、多くの方からリクエスト要望があった企画展の続編です。

今回は同じコレクションの中から、全国の焼き物に幅を広げ、ぐい呑みを中心に特に「色彩の鮮やかな器」や「技法が素晴らしい器」などを多数紹介します。

陶器と言うと、多くの方は伝統的な土味を生かした単調な色合いを思い浮かべると思いますが、最近はそれにアートの要素を加えた作品が人気となっています。

例えば、濃紺の幾何学模様にとルコブルーの釉薬が掛かった盃、色絵に金彩銀彩を施した徳利、面白いところでは、織部釉の中に「ウサギ」などを漫画風に描いた「漫画織部」、胴部全体に無数の妖怪が遊んでいる「妖怪ぐい呑み」などで、それらの作品も多数展示します。

色彩が素晴らしい器では、再現不可能と言われ、国宝の3点しか実在しない「曜変天目茶碗」のぐい呑みでの再現品や、信楽焼きのベースに弥七田織部と志野の陶片を別焼きして、金継ぎした「呼継」のぐい呑みを展示します。

その他にも「練り込み」「象嵌」「印花」「粉引」「飛びかんな」など多様な技法の作品も展示しますので、ぜひこの機会に「器との対話」を楽しんでいただきたいと思います。

